

授業科目	養護実習				実務家教員担当科目	-					
単位	4.	履修	選択	開講年次	4	開講時期	通年				
担当教員	一期崎 直美										
授業概要	<p>養護実習は、今まで履修した教職科目及び専門科目等の理論及び技術を基に、教育現場における実践的な体験を通して、養護教諭の役割を理解し、職務の実践能力を養う機会となることを意図している。また、養護教諭としての資質向上、実践的・研究的能力と態度を養うことを期待する。児童・生徒の人格形成と身体の成長・発達に貢献するとともに、教育における研究課題を発見し、自己の望ましい教師像を形成することを目指す。</p>										
授業形態	実習		授業方法	実習							
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習校の実態に応じて、実習計画を立案し、実践し、振り返り、改善を図りながら実習することができる。 2. 実習校における学校保健活動全体の概要を説明できる。 3. 実習校における養護教諭の仕事について説明できる。 4. 実習中、実践する機会のない学校保健に関する仕事について、可能な限り講話や資料で学び、説明できる。 5. 生涯、学習者としての実践的・研究的な態度を身につけることができる。 										
理想的レベル	「学生が達成すべき行動目標」について達成するだけでなく、自己の目指す教師像に向けて、課題を発見しながら具体的に改善へと結び付けることができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）			備考							
試験											
小テスト											
レポート	15%										
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物	85%										
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NU44119J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
<p>実習校との打合せ。 実習期間の計画立案。 事前学習。 指導案作成。 教材作成。 授業記録作成</p>										4	

<p>授業参観記録記入 講話記録記入 実習記録（日々）記入。 実習終了後レポート作成。</p>	
<p>授業計画</p>	
<p>第1回</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校教育の概要 2. 学校保健組織活動 3. 学校保健計画 4. 保健室の運営管理と養護教諭の職務計画 5. 学校環境衛生活動 6. 定期（臨時）健康診断の計画・立案・運営・事後措置 7. 救急処置と疾病予防 8. 学校安全計画・安全点検 9. 健康観察及び欠席調査と分析 10. 個別保健指導・集団の保健指導及び保健学習指導 11. 健康相談 12. 学校行事の際の保健管理 13. 感染症対策・慢性疾患をもつ子どもへの対応 14. 特別支援の必要な子どもへの対応 15. 養護教諭の職業倫理 16. 教育者の資質向上と研究方法 17. その他
<p>テキスト</p>	<p>今までに履修した教職科目及び専門科目等の講義で使用した教科書及び教材等。</p>
<p>参考図書・教材 /データベース・雑誌等の紹介</p>	<p>実習校から配布される資料。 授業時に配布した資料等。 文部科学省ホームページ https://www.mext.go.jp/a_menu/a002.htm 日本学校保健会ホームページ http://www.hokenkai.or.jp/ 学校保健ポータルサイト http://www.gakkohoken.jp/ 図書館の雑誌・図書</p>
<p>課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>実習終了後、面談を実施します。</p>
<p>学生へのメッセージ</p>	<p>養護実習は、今まで履修した教職科目及び専門科目等の理論や技術を基に、実習生として、職務を実践する能力を養います。既習事項を振り返るだけでなく、救急処置など具体的な児童生徒への</p>

ジ・コメント

対応ができるよう準備を整えてください。また、実習期間中の学校保健行事（健康診断）の実施に協力できるように事前学習を十分に行います。講義だけでなく、講義以外の時間も利用して積極的に実習準備を行ってください。

教職課程の実習は、教員としての倫理観をもち、児童生徒・教員・保護者と関わりましょう。また、教職員や保護者と連携できるように心がけましょう。教職課程の既習事項を復習するだけでなく、日頃から、新聞やニュースで最新の教育時事についても理解し実習に臨んでください。